

ACKグループ野崎社長

中計前倒し達成も

ACKグループの野崎秀則社長は、30日に開いた2018年9月期第2四半期決算説明会で、中期経営計画「ACK2013+強化」に掲げる目標の前倒し達成に言及。

早ければ「今期での2年前倒しもあり得る」との認識を示した。今第2四半期の連結業績では、特に海外事業の大型案件受注がけん引し、受注高、受注残高とも前期実績比で4

割近く増加。事業拡大に向けた重点化プロジェクトも81件以上と着実に増加している。

中期経営計画では20年9月に売上高500億円、営業

利益20億円の達成を目指している。今期は前期に引き続き

国内外とも案件が順調に進

行。通期では売上高475億

円、営業利益15億円、経常利

益14億9000万円、純利益

8億8000万円の当期計画

を達成する見通しで、すべての指標で過去最高を更新し、6期連続の増収増益を見込む。

野崎社長は、アジアでの鉄道や港湾を中心とした大型案件受注が今後も順調に推移す

る見通しに加え、重点化事業が伸びていることから「計画値をさらに上回ることを感じている」と手応えを口にして